

(1)児童の体力の現状

- 上体起こしでは、多くの学年で県平均を上回っている。
- 5年女子は、多くの種目で県平均や前年度比を大きく上回っている。
- 5年女子と6年男子のシャトルランで、県平均を大きく上回っており、持久力が優れている。
- ほぼ全ての学年において、握力、長座体前屈、反復横跳び、ソフトボール投げで県平均を下回っている。
- 学年・男女別では、1年男子、3年男子、3年女子、5年男子、6年女子が、ほぼすべての種目で県平均を下回っている。
- 3年女子と6年女子のシャトルランで、県平均を大きく下回っており、持久力が課題である。
- 1年女子、3年男子、3年女子、4年男子、4年女子の立ち幅跳びは、県平均より10cm以上低く、跳躍力が課題である。
- 4年男子、5年男子、6年男子、6年女子のソフトボール投げは、県平均より3m以上低く、投力が課題である。

(2)30年度の具体目標の達成状況と課題

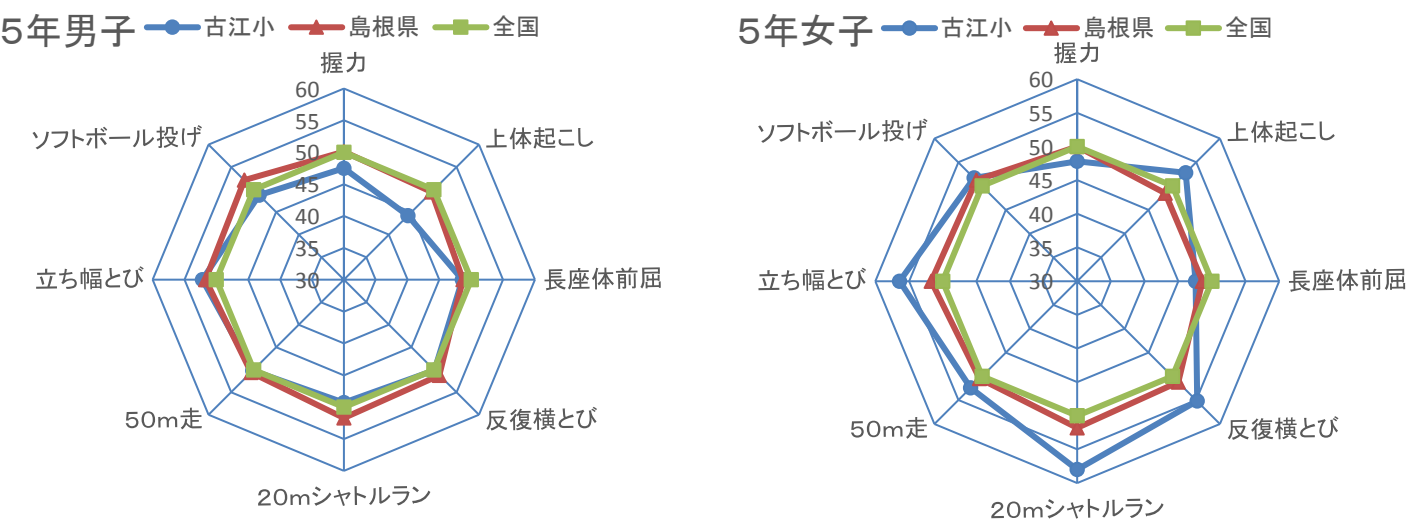
- 意識調査において、「運動が好き」と回答する女子の割合が非常に高かった。
- 校内マラソン大会(2回)や、長縄跳び集会(1回)を実施することができた。また、児童会活動の一環としてマラソン練習の励行もすることで、休み時間に校庭に出て走る児童が増えた。
- 5種目歩走跳運動、ペース走、縄跳びなど、各学年で体育の時間に年間を通した体力づくりの活動を実施した。
- 意識調査において、「運動が好き」と回答する男子の割合が、目標数値(90%)に到達しなかった。
- マラソンや縄跳びなどの体力づくりの活動において、児童に具体的な目標を設定させ、より計画的かつ長期的な取組となるようにしたい。

(3)31年度の取組【対策】

- ①学校における取組
 - ・全校児童の体力・運動能力調査の結果の詳細な分析
 - ・体力向上のための取組への職員間の共通理解、課題改善のための実践例の紹介
 - ・校内マラソン大会(2回)と長縄跳び大会(1回)の実施、大会へ向けた体力づくりの奨励
- ②地域や家庭との連携による取組
 - ・校内マラソン大会に向けての取組の保護者への発信(学校便り等)、記録証の完走者全員への配付
 - ・日常生活習慣について振り返る活動の実施(各学期1回)
- ③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組
 - ・「すこやかカード」を使用した生活習慣改善への取組(各学期1回)
 - ・「食の学習ノート」を活用した食育の推進

調査実施者数(人) 1年(男子27・女子21) 2年(男子18・女子22) 3年(男子22・女子16)
4年(男子19・女子22) 5年(男子20・女子19) 6年(男子20・女子21)

(4)5年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



(5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 5年生意識調査の結果

